

エコアクション21

環境経営レポート

令和5年度

運用期間：令和5年7月～令和6年6月

 株式会社 **産興エコサービス**

令和6年9月5日 作成

< 目 次 >

環境方針	P 1
① 組織の概要など	P 2
② 組織図	P 3
③ 許可内容一覧	P 4
④ 車産業廃棄物・一般廃棄物 収集運搬車一覧表	P 5
⑤ 廃棄物処理料金	P 5
⑥ 処理フロー	P 6
⑦ 産業廃棄物処分業許可処理能力一覧と積替保管許可内容	P 7
⑧ 処理実績	P 7
⑨ 令和5年度及び中期 環境目標	P 8
⑩ 環境目標に対する実績と評価	P 9
⑪ 環境活動計画の内容と取組結果の評価	P 10
⑫ 次年度の活動計画の内容	P 11
⑬ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P 11
⑭ 代表者による全体評価と見直しの結果	P 11
⑮ その他、地域環境保全に於いて	P 11
⑯ 各報告事項		
会社周辺の清掃実施状況について	P 12
社内 安全衛生大会実施状況について	P 13
		~14
⑰ 社内スローガン・安全目標	P 15

環 境 経 営 方 針

< 基本理念 >

株式会社産興エコサービスは、自身の企業活動が地球環境問題と最も関わり合いがあることを認識し、厳しい管理運営を行い、他の事業者が手本とする優れた産業廃棄物処理業者となることを目指し、循環型社会の実現に貢献する。

< 行動指針 >

経営環境システムを構築・運用し継続的な取組を進めるため、この行動指針に基づき、環境経営目標及び環境経営活動計画等を定め、実行性のある活動を展開します。

1. 排出事業者より委託された産業廃棄物を適性処理すると共に、再資源化率向上に努める。
2. 産業廃棄物収集運搬業・処分業においては環境配慮に努める。
3. 環境に係わる関連法令及びその他要求事項を遵守する。
4. 二酸化炭素排出量、水使用量、廃棄物排出量及び総排出量の抑制に努める。
5. 関係官庁・団体及び地域社会とのコミュニケーションを図り、地域社会と共生する。
6. 環境方針の定期的な見直しを行い、全社員はもとより社外に公表します。

制定 平成23年10月1日

改定 令和3年7月1日

 **株式会社 産興エコサービス**

代表取締役 吉武 智生

①組織の概要など

(1) 名称及び代表者名

株式会社産興エコサービス 代表取締役 吉武 智生

(2) 法人設立年月日

昭和62年6月13日

(3) 資本金

1000万円

(4) 所在地

本社 福岡県北九州市門司区新門司3丁目65番、64番1及び3

(5) 環境管理責任者及び担当者氏名並びに連絡先

環境管理責任者 : 常務 沖 俊二

TEL 093-481-0303 oki@sankou-k.net

(6) 事業内容

産業廃棄物収集運搬業

特別管理産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物中間処理業

一般廃棄物運搬業

(7) 事業規模 (全体)

活動規模	単位	h30	R1	R2	R3	R4	R5
売上高	百万円	327	310	317	354	384	362
従業員	人	29	28	28	30	31	32
床面積	m ²	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480

※各年度末6/30時点での数字です。

(8) 事業年度

7月～翌年6月

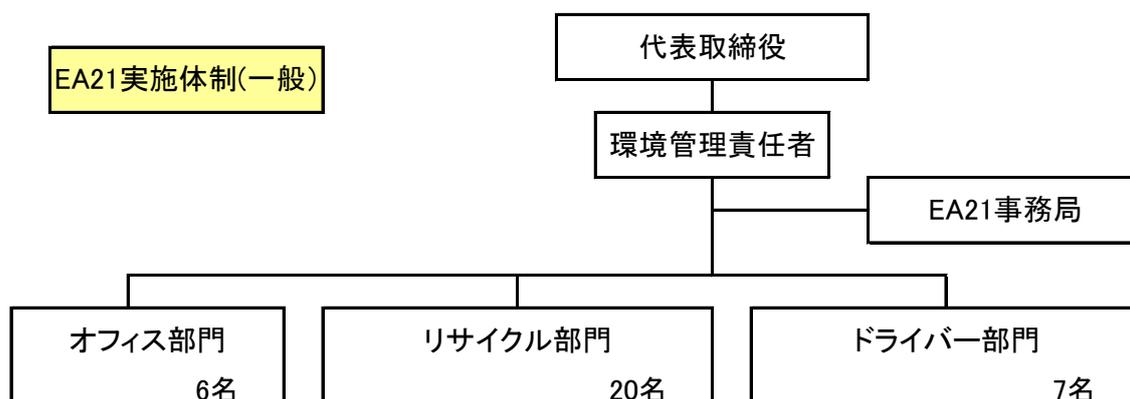
(9) 認証・登録の対象範囲 (組織・活動)

対象事業者名 : 株式会社産興エコサービス

対象事業所 : 本社・工場

対象活動 : 解体事業以外の全組織・活動

②株式会社産興エコサービス組織図



役割分担表

所属(役職)	役割・責任・権限・使命
代表者 (代表取締役)	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
環境管理責任者	全体の把握／環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
オフィス部門	リサイクル率、電力、水消費量の管理
リサイクル部門	廃棄物の処理量管理、重機燃料(軽油)消費量管理
ドライバー部門	車両燃料(軽油)消費量管理

■従業員数

(令和6年6月30日現在)

	正社員	パート社員	派遣社員	合計
管理部	6	0	0	6
業務部	16	10	0	26
合計	22	10	0	32

③許可一覧

産業廃棄物収集運搬許可

許可内容	許可番号	許可年月日	許可期限	優良
北九州市	第7610006805号	令和1年6月23日	令和8年6月22日	○
福岡県	第4000006805号	平成22年6月12日	令和13年6月11日	○
大分県	第4408006805号	平成28年8月22日	令和12年8月21日	○
山口県	第3500006805号	平成28年8月30日	令和12年8月29日	○
佐賀県	第4103006805号	平成23年3月24日	令和7年3月23日	○
宮崎県	第4507006805号	令和2年10月22日	令和7年10月21日	-

特別管理産業廃棄物収集運搬許可

福岡県	第4050006805号	平成28年5月17日	令和12年5月16日	○
山口県	第3550006805号	平成23年11月5日	令和12年11月4日	○
大分県	第4458006805号	平成29年11月6日	令和6年11月5日	○
佐賀県	第4153006805号	平成23年3月24日	令和7年3月23日	○

産業廃棄物処分業許可

北九州市	第7620006805号	平成28年8月2日	令和12年8月1日	○
------	--------------	-----------	-----------	---

一般廃棄物収集運搬許可

北九州市	第016号	令和4年4月1日	令和8年3月31日
------	-------	----------	-----------

一般建設業の許可

とび・土工工事 解体工事	(般-5)第92361号	令和6年2月19日	令和11年2月18日
-----------------	--------------	-----------	------------

産業廃棄物処分業許可 許可取得都道府県政令市		北九州市
産業廃棄物	廃プラスチック類	○
	紙くず	○
	木くず	○
	繊維くず	○
	ゴムくず	○
	金属くず	○
	がれき類	○
	ガラスくず	○
	ガラスくず(石膏ボードに限る)	○

産業廃棄物収集運搬業許可 許可取得都道府県政令市		北九州市	福岡県	山口県	大分県	佐賀県	宮崎県
産業廃棄物	がれき類	●	○	○	○	○	○
	ガラスくず及陶磁器くず	●	○	○	○	○	○
	金属くず	●	○	○	○	○	○
	廃プラスチック類	●	○	○	○	○	○
	紙くず	●	○	○	○	○	○
	木くず	●	○	○	○	○	○
	繊維くず	●	○	○	○	○	○
	動植物性残さ	○	○				○
	鋳さい	○	○	○	○		○
	廃油	○	○				○
	汚泥	○	○				○
	燃え殻	○	○				○
	廃酸		○				○
	廃アルカリ		○				○
	ゴムくず		○				○
	動物系固形不要物		○				○
	動物のふん尿		○				○
	動物の死体		○				○
	ばいじん		○				○
	政令第2条第13号廃棄物		○				○
石綿含有産業廃棄物を含む	●	○	○	○	○	○	
水銀使用製品産業廃棄物	●	○	○	○	○	○	
特別管理産業廃棄物	廃石綿(アスベスト)		○	○	○	○	
	廃油		○				
	廃酸		○				
	廃アルカリ		○				
	鋳さい		○				
	ばいじん		○				
	燃え殻		○				
汚泥		○					
政令第2条第13号廃棄物		○					

●は積替保管を含む

④産業廃棄物・特別管理産業廃棄物・一般廃棄物 収集運搬車一覧表

登録車輛16台

名 称	登 録 番 号	積 載 量 kg
脱着装置付きコンテナ車	北九州130そ2500	11,700
脱着装置付きコンテナ車	北九州130な38	11,200
脱着装置付きコンテナ車	北九州130す380	3,700
脱着装置付きコンテナ車	北九州130さ3803	3,500
脱着装置付きコンテナ車	北九州130す3833	3,500
脱着装置付きコンテナ車	北九州130す3844	3,750
脱着装置付きコンテナ車	北九州130す3855	3,500
脱着装置付きコンテナ車	北九州430せ3811	3,000
脱着装置付きコンテナ車	北九州430せ3866	3,000
脱着装置付きコンテナ車	北九州430た3877	3,000
脱着装置付きコンテナ車	北九州430せ3888	3,000
クラムシェル車	北九州130さ3899	5,600
ユニック車	北九州130せ3800	3,650
ユニック車	北九州130さ3802	3,600
ダンプ車	北九州430す3822	3,000
軽トラック	北九州483い3801	350

R6.8.17現在

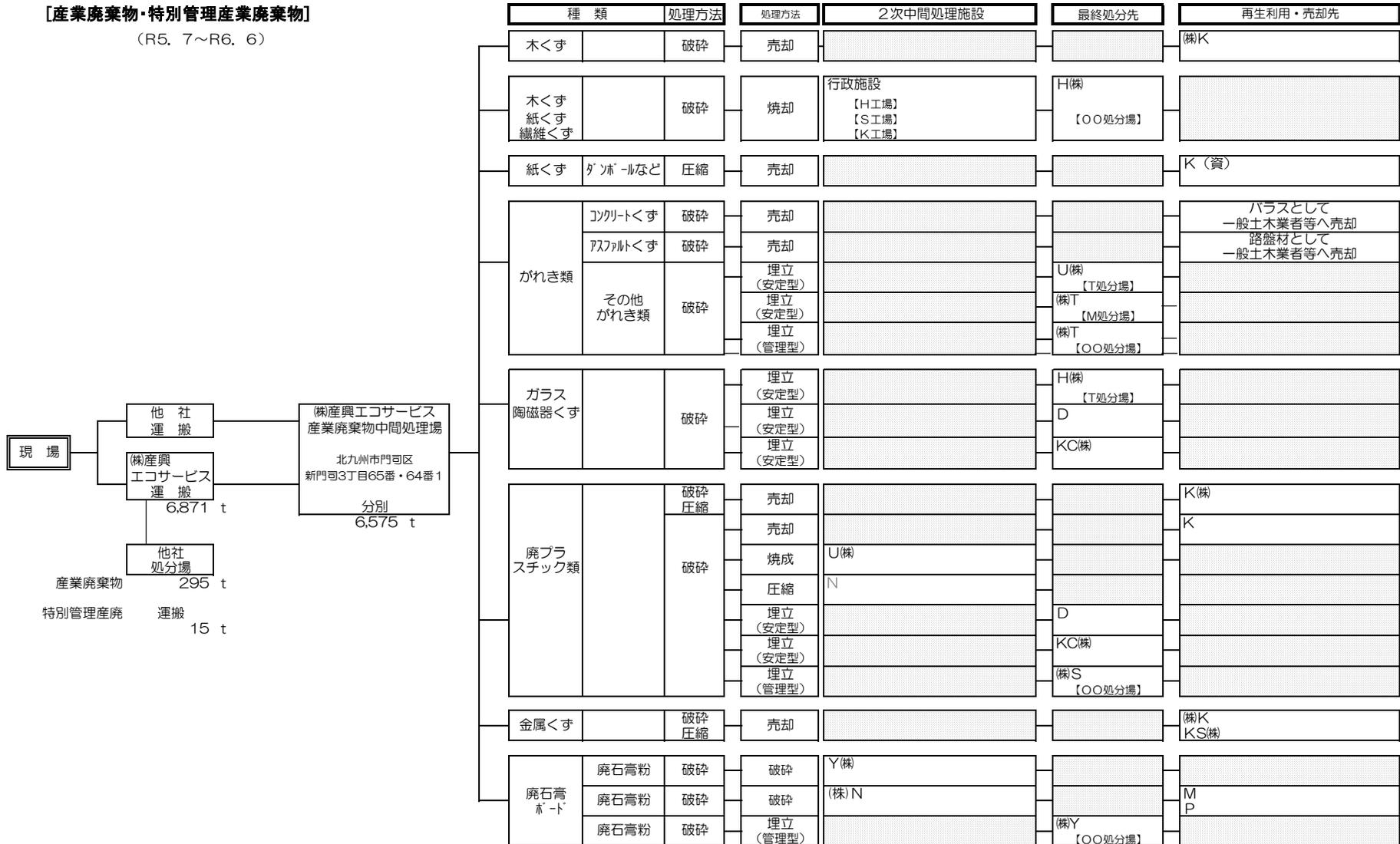
⑤産業廃棄物・特別管理産業廃棄物・一般廃棄物 処理料金

個別見積による

⑥処理フロー図

[産業廃棄物・特別管理産業廃棄物]

(R5. 7~R6. 6)



⑦産業廃棄物処分業(中間処理)許可能力一覧

許可取得品目	圧縮機	破 碎 機		
		1号機	2号機	3号機
廃プラスチック類	1.2	3.6	-	-
紙くず	2.5	1.2	-	-
木くず	-	3.4	-	-
繊維くず	-	3.0	-	-
ゴムくず	-	3.3	-	-
金属くず	0.8	2.5	-	-
がれき類	-	-	4.8	-
ガラスくず	1.3	-	4.8	-
ガラスくず(石膏ボードに限る)	-	-	-	3.4

トン/1日(8時間)

積替保管施設許可内容

面	積	10.0 m ²
保管上限量合計		7.0 m ³
許可品目 (7品目)	廃プラスチック類	1.0 m ³
	紙くず	1.0 m ³
	木くず	1.0 m ³
	繊維くず	1.0 m ³
	金属くず	1.0 m ³
	がれき類	1.0 m ³
	ガラスくず	1.0 m ³
	石綿含有産業廃棄物	2.0 m ³
	水銀使用製品産業廃棄物	3.0 m ³

⑧令和5年度処理実績

産業廃棄物	処分	6,575 トン
	運搬	6,871 トン
特別管理産業廃棄物	運搬	15 トン
一般廃棄物	運搬	33 トン

⑨令和6年度及び中期 環境目標

							作成年月日	環境管理責任者	作成者
							令和6年8月31日	沖	沖
			年度	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標
No.	目標	単位	対象売上	363百万円	-	351百万円	—	—	—
1	二酸化炭素総排出量	t-CO ₂	目標・実績	312.66	310.00	317.69	310.00	310.00	310.00
	二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂ /百万円	目標・実績	861.32	850.00	905.81	900.00	900.00	900.00
	1-1	軽油使用燃費	台	目標・実績	7/15台	各車両毎 前年値クリア 8/15台以上	10/15台	各車両毎 前年値クリア 8/15台以上	各車両毎 前年値クリア 8/15台以上
	1-2	電力使用量	kWh	目標・実績	42,088	42,000	42,930	42,000	42,000
2	廃棄物排出量（焼却分）	kg	目標・実績	300.00	260.00	280.00	280.00	280.00	
3	総排水量（使用水量）	m ³	目標・実績	432.00	400.00	449.00	440.00	440.00	
4	廃プラスチック類リサイクル率の向上	%	目標・実績	43.60	43.60	46.70	46.70	46.70	
5	会社周辺の清掃	実施回数		12回/年 以上	12回/年 以上	12回/年	12回/年	12回/年	

※PRTR対象物質は使用していない為、目標には掲げません。

※電気の二酸化炭素の排出係数は、九州電力の平成21年度0.369kg-CO₂/kWhを用いた。

⑩環境目標に対する実績と評価

			R5年度の目標値	R5年度の実績値	評価	
環境目標		単位	R 5. 7～R6. 6			
			-	産廃事業 売上351百万円		
1	二酸化炭素総排出量	t-CO ₂	310.00	× 317.69 目標比100.89%	運搬及び処理量が減少し売上も微減している。一方で最大の排出要素である車両の走行距離は大幅に伸びている。その様な状況を反映してCO2排出量は増加してしまっている。また対売上でも増加し目標も未達となりました。	
	産廃事業の売上あたりの二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂ /百万円	850	× 905.81 目標比106.57%		
	1-1	軽油使用量	台	各車両毎前年値をクリア 8/15台以上	各車両毎前年値をクリア ○ 10/15台	買い替えて大幅に改善した車両もあり高達成となった。
	1-2	電力使用量	kWh	42,000	× 42,930 目標比102.21%	前年及び目標を少しオーバーしましたが、ここ3年間減少してきていたので健闘したと評価できる。
2	廃棄物総排出量(焼却分)	kg	260	× 280 目標比107.69%	前年数字はクリアできたが目標には届かなかった、事業規模拡大を考量すれば健闘している。	
3	総排水量(使用水量)	m ³	400	× 449 目標比112.25%	過去6年間急激に増加し続けている中でここ3年は前年対比3-4%程度となったが安定数値が見えてこない。防塵対策が必要が増しているので仕方ない一面はある。	
4	グリーン購入		***	***	***	
5	廃プラスチック類の中間処理におけるリサイクル率向上	%	43.6%	○ 46.7% 目標比107.11%	原油価格高騰などの後押しもありリサイクルに追い風となり排出先は好条件となる中で達成率も伸びている。	
6	会社周辺の清掃	実施回数	毎月1回	○ 毎月1回	毎月実施できました。	

※PRTR対象物質は使用していない為、目標には掲げません。

⑪環境活動計画の内容と取組結果の評価

1. 二酸化炭素総排出量の削減

取組目標		活動項目		評価		
1	各車両前年値をクリア8/15台以上	1	対象車両の燃費集計結果のフィードバック	○	毎月報告できた	
		2	対策MT実施(取組目標設定)	○	MT毎月回覧方式で実施した	
		3	エアフィルター清掃・タイヤ空気圧チェック	△	未実施が散見された	
	(場内の取り組み)	フ ォ ー ク 機 ・ ク	1	アイドリングSTOP	○	実施できている
			2	データ集計	○	時間あたりとm3あたりの軽油使用量集計実施
3	エアフィルターの清掃		○	完全実施できている		
2	電力使用量 43000.00kWh/年 以下	1	エアコン設定温度を決め、実行する	△	換気もあり少しオーバーで運転した	
		2	退出15分前のエアコン停止	×	退社時に実施されている	
		3	エアコンのフィルター清掃	○	予定月に完全実施できた	
		4	換気扇を不要時停止する	○	毎日チェックし実施できた	

2. 廃棄物総排出量

取組目標		活動項目		評価	
1	廃棄物総排出量(焼却分) 260kg/年 以下	リサイクル品分別の徹底(紙くず・空缶・PETの分別)		○	1階は毎日、2階は都度ゴミ出し時確認した

3. 総排水量

取組目標		活動項目		評価	
1	使用水量 400m ³ /年 以下	1	毎月使用量を確認し漏水が無いかチェックする	○	毎月請求書にて確認した。休日メーター確認実施。

6. 中間処理におけるリサイクル率の向上

取組目標		活動項目		評価	
1	廃プラスチック類を40.3%以上へ	1	廃プラスチック類分別の勉強会実施	○	6月の安全衛生大会時に実施
		2	工場内作業員への月1回の数字報告	○	毎月回覧で実施し実績票を掲示した。

7. 会社周辺の清掃

取組目標		活動項目		評価	
1	会社周辺の清掃(1回/月)	月に1回場所を決めゴミ拾いを実施		○	毎月1回始業前に実施した。

実施状況の評価 ○:実行されている △:不十分 ×:実行されていない

⑫ 次年度の活動計画の内容

令和5年度の内容を事業規模変化等を考慮し一部目標修正した上で引き継ぎ取り組んでまいります。
令和6年度に新たにチャレンジする項目はありません。

⑬ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規等は次の通りです。

○廃棄物処理法 ○消防法 ○フロン排出抑制法 ○労働安全衛生法
○道路交通法 ○道路運送車両法

環境関連法の遵守状況をチェックの結果違反はありませんでした。
尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等もありません。

⑭ 代表者による全体評価と見直し・指示

今期は先期に比べ売上がマイナス5.7%となりました。コロナ後、3期連続で売上を伸ばしていましたが、マイナスの要因としてスクラップの買取相場の変動と外注による解体工事の減少が考えられます。売上が減少した中でもCO₂の総排出量、売上比率に関するCO₂の排出量共に増加しています。

CO₂の排出に最も影響する軽油の使用量燃費については目標の15台中8台達成の目標に対し10台達成と目標を大きく上回る結果となり、新しく買い換えた車両の効果が出た結果だと思えます。

しかし新車の性能だけではなく、個々のエコドライブ意識の向上を図って行く事が重要だと思えます。電気の使用量については微増となっていますが、来期も今期と同じ数値を目標として節電に関する取り組みを実施していこうと思えます。

廃棄物排出量に関しては先期大幅に増加しましたが、今期は減少したものの目標は達成できませんでした。来期からは減少傾向にある今期の数値を目標として今後の経過を見たいと思っています。使用水量に関しては先期は目標を達成しましたが、今期は目標未達成となり増加傾向となっています。工場内での散水は職場環境の保全や火災対策に必要な不可欠で、目標を達成する事が困難な状況であり来期以降の目標を今期の未達成だった実績から若干抑えた数値に変更しますが、節水の必要性を再度周知し理解してもらい目標を達成するために必要な日々の取り組みを確実に実施します。

廃プラスチック類のリサイクル率向上に関しては前々期、前期と3期連続で目標を達成できました。搬入先の受入状況に大きく左右されやすい廃プラスチックのリサイクルですが、近年の原油価格の高騰が追い風となり、今期中盤から新たな処分先と契約をした事で安定したリサイクルが出来ました。来期は今期達成した実績数値を目標として臨みたいと思えます。

全体を通して未達成が多く、売上の減少に対してCO₂の総排出量や売上比率の関する排出量が増加した事が大きな反省点となります。また、電気・水道・廃棄物（焼却分）など増加傾向にある環境目標に対し減少させるための取り組みを社員と共に考え協力しながら実施して行きます。

来期は売上アップを目指しながら今期の反省点を活かしCO₂の総排出量を減少させるような事業活動を行い更に昨今の国際情勢や物価高の影響を鑑み、広い視野で経営判断をする必要があると考えます。

⑮ その他、地域環境保全に於いて

前年度同様に会社周辺の清掃活動を実施しました。

会社周辺の清掃 実施内容

2023	7月19日	2024	1月27日
	8月26日		2月24日
	9月16日		3月16日
	10月14日		4月20日
	11月11日		5月18日
	12月16日		6月8日



上記の日に始業前約15～30分間
一部社員の協力で新門司公園周辺の
ゴミ拾い等を実施しました。



交通安全・美化のため交差点の見通しが良くなるように草刈りを実施しました。

2024年 (株)産興エコサービス 第21回 労働安全衛生大会

<スケジュール>

令和6年6月22日(土)

研修内容		対象者	開始/終了	所要時間
開会宣言		悠雄	13:00	0:00
車両・車載品点検	廃プラスチック 研修	(運輸・工場)	13:00	1:15
エコドライブM 安全運転教育	野原商会 見学		14:15	
危機管理対応 研修		(運輸・工場・事務所)	14:15	0:45
			15:00	
休憩		***	15:00	0:15
			15:15	
事故事例報告		常務 より	15:15	0:10
			15:25	
リスクアセスメント		社長 より	15:25	0:10
			15:35	
EA21 環境活動レポート 発表		沖 より	15:35	0:05
			15:40	
EA21活動計画 周知と来年度目標		沖 より	15:40	0:05
			15:45	
熱中症メール登録		沖 より	15:45	0:05
			15:50	
総評		社長 より	15:50	0:10
			16:00	
安全スローガン唱和 / 閉会宣言		白石・沖/直人	16:00	0:00

3:00

安全衛生大会実施 状況

- エコドライブに関するMTや
廃プラリサイクル率向上MTを実施
EA21について 改めて全員で目標等を共有しました。



- リスクアセスメントや危機管理対応について話し合いました。



2024年度 (株)産興エコサービス

◇ 今年のキーワードは 「 危機管理 」

年明け早々から能登半島地震、羽田空港での航空機事故、小倉の鳥町商店街の火災と大規模な地震・事故・火災が発生しました。

我が社においても過去に1号倉庫を全焼する火災にみまわれ対応に苦慮した経験があります。今年は危機管理対応を見直し様々な災害や事故が発生した場合の対応を皆と考えマニュアル化します。

【上期安全衛生スローガン】 1月～6月 白石 賢司

安全は急がず焦らず油断せず いつも心に初心者マーク

【下期安全衛生スローガン】 7月～12月 沖 俊二

安全はひとつひとつの積み重ね みんなで実行予知・確認 達成しよう無災害

【リサイクル部門 安全重点項目】

1. 工場内安全通路の確保（躓き、転倒防止）
2. 重機・フォークリフトの稼働半径内・導線上での作業要注意
3. 整理整頓・美化の徹底（工場内外への飛散防止）
4. 持込み業者への対応（帰りの際には感謝の言葉を！）

【ドライバー部門 安全重点項目】

1. 全ての現場でヘルメット装着徹底（自社工場内も同様に）
2. 荷台からの転落防止徹底（足元注意とヘルメットの装着徹底）
3. 車両メンテナンス徹底（適切な点検と室内外の美化）
4. 接触・自損事故撲滅（一手間を惜しまず、現地KYを徹底）
5. 取引先への対応（現場を離れる時には感謝の言葉を！）